

科目名	社会政策	科目分類	■専門科目群 □総合科目群	
			法律学科	□必修 ■選択
			学科	□必修 □選択
英文表記	Social Policy	開講年次	□1年 ■2年 □3年 □4年	
		開講期間	□前期 ■後期 □通年 □集中	
ふりがな	きむら きよし	実務家教員担当科目	修得単位	4単位
担当者名	木村 澄	実施方法	■対面のみ □遠隔のみ □対面・遠隔併用	
授業のテーマ	社会政策の本質と発展を概観しながら、社会保障制度の具体的な適用を学びます。			
到達目標	社会政策の生成と理論を理解したうえで、社会保障法や労働問題に関するさまざまな制度を概説できるようになること。そして、社会政策にまつわる諸問題を読み解き、職業生活をはじめ人生全体をとらえて生かせるようにすることを目標とします。			
授業概要	「病気」、「けが」、「障がい」、「妊娠」、「出産」、「失業」、「死亡」、超高齢社会における「年金」や「介護」、さらには仕事にまつわる諸問題は、すべての人々にとって重大な日常生活上の事からです。社会政策は、これらの諸問題に対する国家の行う対応策であって、社会の変化に適応しながら生成・発展をとげてきました。本講義では、社会政策の本質論と社会保障法の発展を概観しながら、日本における社会保障制度の具体的な適用を見ていくこととします。			
授業計画				
第1回	社会保障の生成 資本主義社会の矛盾の修正：『明日の記憶』	第17回	年金保険制度(1) 年金制度総論	
第2回	社会保障の機能と方法 「公的扶助」と「社会保険」	第18回	年金保険制度(2) 「国民年金」と「厚生年金」	
第3回	イギリスの社会保障の歴史的発展(1) 「救貧法」の発展	第19回	労働者災害補償保険制度(1) 「業務災害」と「通勤災害」：「ダンダリン」①	
第4回	イギリスの社会保障の歴史的発展(2)： 『オリヴァー・ツイスト』を考える	第20回	労働者災害補償保険制度(2) 保険給付の種類①：「ダンダリン」②	
第5回	イギリスの社会保障の歴史的発展(3) 個人的貧困観から社会的貧困観へ	第21回	労働者災害補償保険制度(3) 保険給付の種類②	
第6回	イギリスの社会保障の歴史的発展(4) ベヴァリッジ報告と社会保障法	第22回	雇用保険制度(1) 保険給付の種類①	
第7回	日本の社会保障の歴史的発展(1) 明治期から大正期の救貧政策	第23回	雇用保険制度(2) 保険給付の種類②	
第8回	日本の社会保障の歴史的発展(2) 昭和初期から戦後改革期まで	第24回	雇用保険制度(3) 保険給付の種類③	
第9回	生活保護法(1)「朝日訴訟」を考える ：『健康で文化的な最低限度の生活』	第25回	介護保険制度(1) 介護保険法総論	
第10回	生活保護法(2) 生活保護の基本原則	第26回	介護保険制度(2) 介護サービスの種類①	
第11回	生活保護法(3) 生活保護の種類と諸問題	第27回	介護保険制度(3) 介護サービスの種類②	
第12回	医療保険制度(1) 健康保険総論：「SiCKO」を考える	第28回	社会政策の本質論(1) ワグナーの理論、シュモラーの理論	
第13回	医療保険制度(2) 保険給付の種類①	第29回	社会政策の本質論(2) ブレンタノの理論	
第14回	医療保険制度(3) 保険給付の種類②	第30回	社会政策の本質論(3) 大河内の理論、森の理論	
第15回	医療保険制度(4) 保険給付の種類③	第31回	社会政策の本質論(4) 岸本の理論	
第16回	中間試験	第32回	期末試験	
授業時間外の	1. 授業前に前の回で配付したプリントとノートに必ず目を通しておいください。			

学習	2. 確認の小テストを4回行います。復習をしっかり行ってください。 3. 新聞やテレビのニュースで社会保障や労働問題に関する出来事に関心を持ってください。
履修条件 受講のルール	法律学科の学生については、「労働法」の単位を修得済みであることを前提に授業を進めます。 前期開講科目の「労働法」が未履修の場合には、翌年度の履修を推奨します。
テキスト	講義の際にレジュメや関係資料を配付します。
参考文献・資料	フリードリヒ・エンゲルス著『イギリスにおける労働者階級の状態』、細井和喜蔵著『女工哀史』、 チャールズ・ディケンズ著『オリバー・ツイスト』、マイケル・ムーア製作『Sicko』、田島隆原作 日本テ レビ製作『ダンダリン 労働基準監督官』、柏木ハルコ作 カンテレ製作『健康で文化的な最低限度の生活』
成績評価の方法	【中間試験（30%）、小テスト（25%）、期末試験（30%）、主体的学びの姿勢（15%）】 上記評価項目を基にして総合的に判断します。 ・出席回数が規定に満たない場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は、試験を受ける ことができません。 ・出席確認時に不在だった場合は原則としてその回は欠席とします。 ・授業中に無許可で退出した場合は欠席とします。 ・授業の理解、および予習復習が充分であるかを確認するため、授業中に小テストを行います。 ・レポート課題は授業内又は掲示板（ポータルサイト含む）で指示します。
オフィスアワー	毎週火曜日 14：40～16：10・木曜日 14：40～16：10 ※これ以外の時間帯でも可能な限り対応します。
成績評価の基準	秀（90～100点）、優（80～89点）、良（70～79点）、可（60～69点）、不可（0～59点）
学生への メッセージ	将来の職業生活や人生全体を通じて必ず役に立つ科目です。 「わかる・できるようになる」に向けて、「主体的な学び」の姿勢を大切にしましょう。